

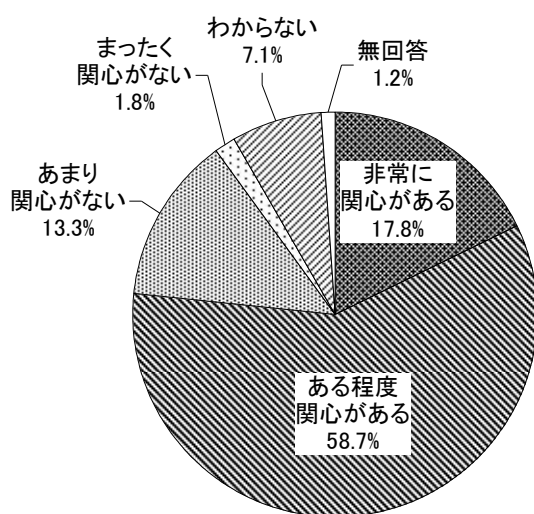
## 5 生物多様性保全について

### (1) 自然についての関心

問16 あなたは、自然についてどの程度関心がありますか。  
次の中から1つ選んでください。

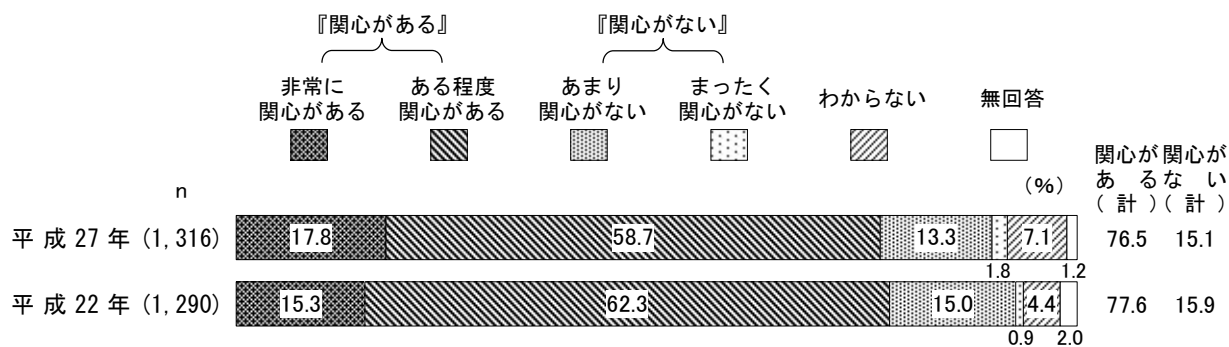
[n=1,316]

1	非常に関心がある	17.8%	4	まったく関心がない	1.8%
2	ある程度関心がある	58.7	5	わからない	7.1
3	あまり関心がない	13.3	(無回答)		1.2



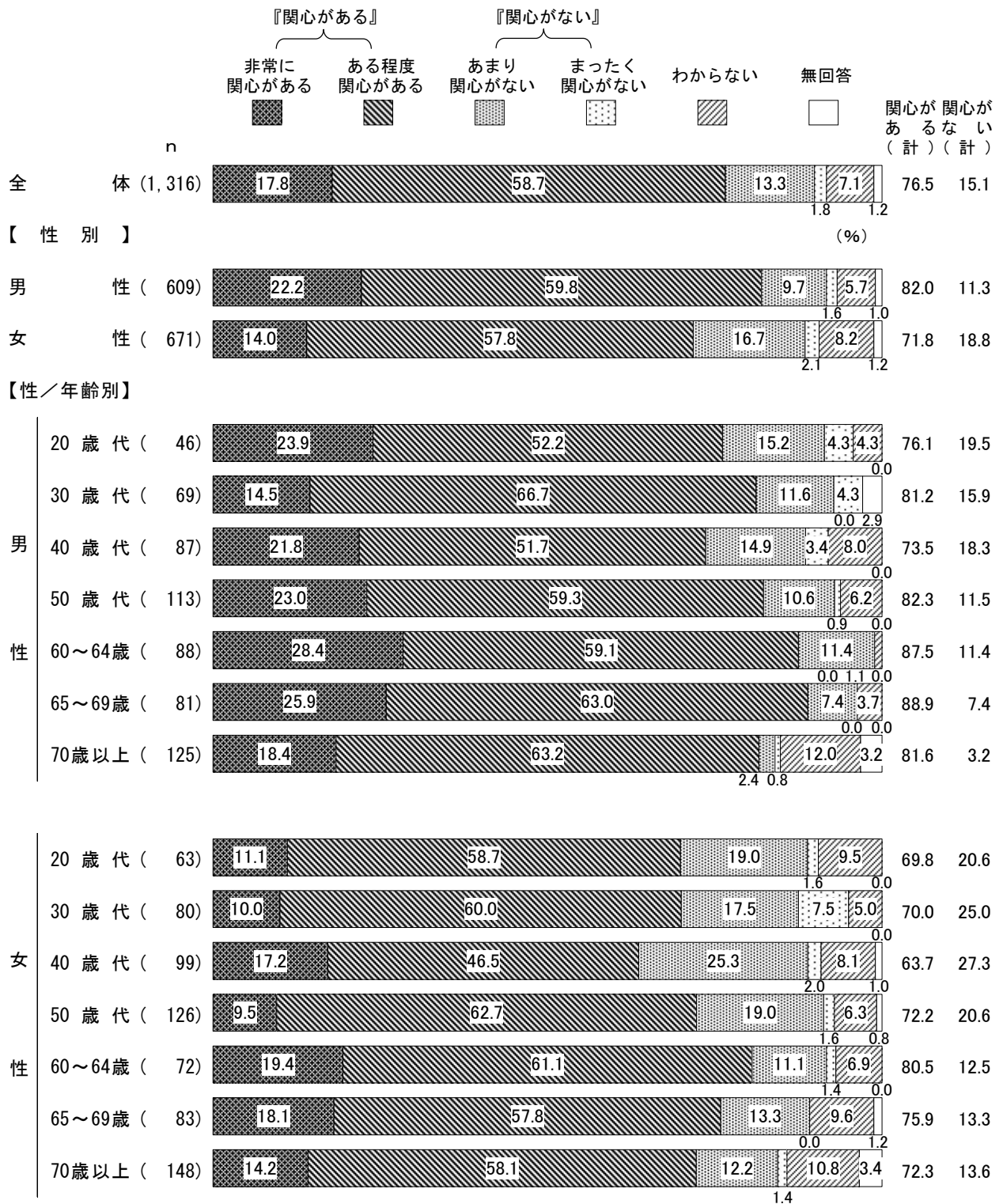
(n=1,316)

全体で見ると、「非常に関心がある」(17.8%)と「ある程度関心がある」(58.7%)の2つを合わせた『関心がある』(76.5%)は8割近くとなっている。一方、「あまり関心がない」(13.3%)と「まったく関心がない」(1.8%)の2つを合わせた『関心がない』(15.1%)は1割半ばとなっている。



平成22年の調査結果と比較すると、大きな傾向の変化はみられない。

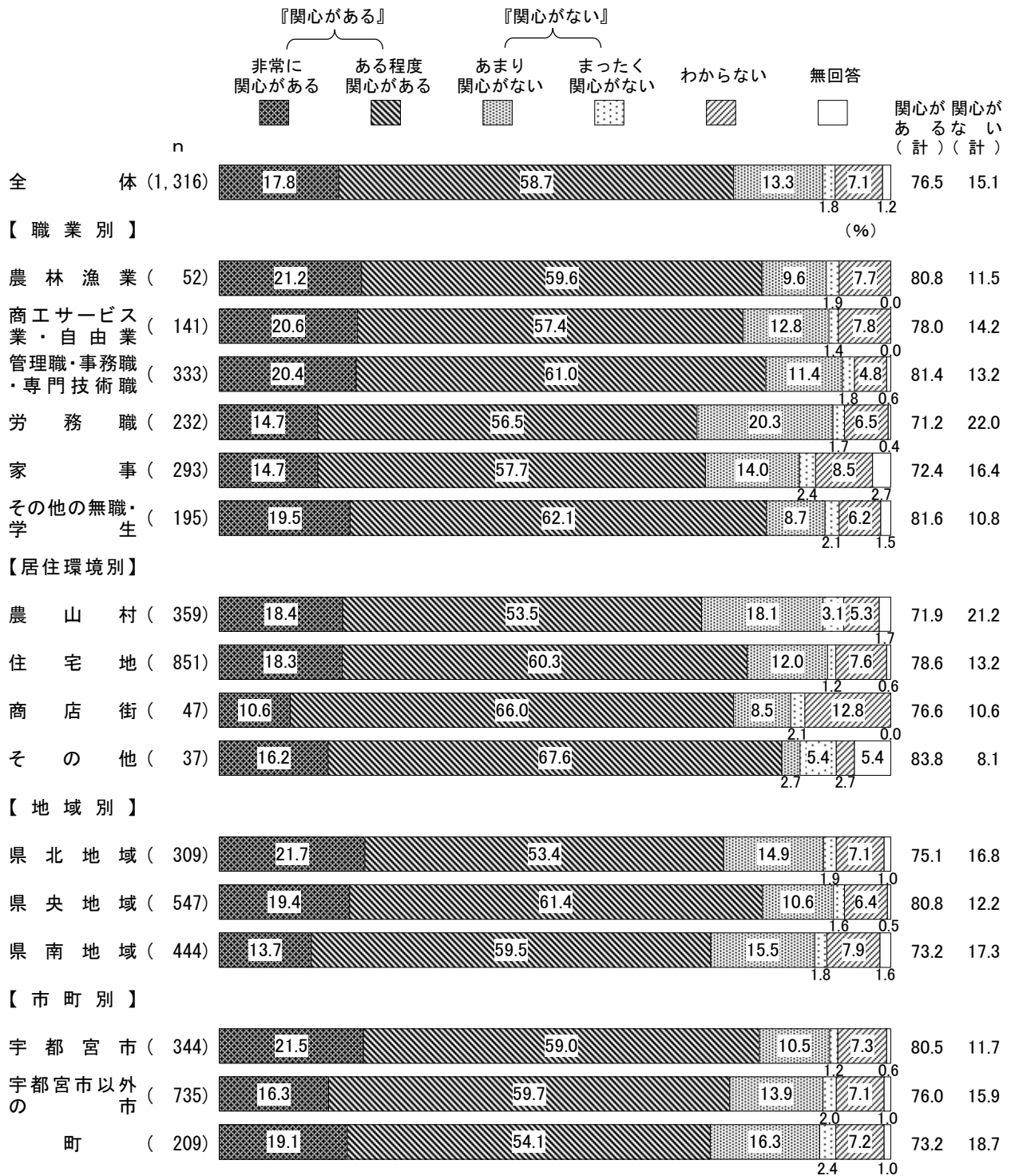
[性別・性／年齢別]



性別でみると、『関心がある』では〈男性〉(82.0%)が〈女性〉(71.8%)より10.2ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『関心がある』では〈男性65~69歳〉が88.9%、〈男性60~64歳〉が87.5%と高くなっている。『関心がない』では〈女性40歳代〉が27.3%、〈女性30歳代〉が25.0%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、『関心がない』では〈労務職〉が22.0%と高くなっている。

居住環境別でみると、『関心がない』では〈農山村〉が21.2%と高くなっている。

地域別でみると、『関心がある』では〈県央地域〉が80.8%と高くなっている。

市町別でみると、『関心がある』では〈宇都宮市〉が80.5%と高くなっている。

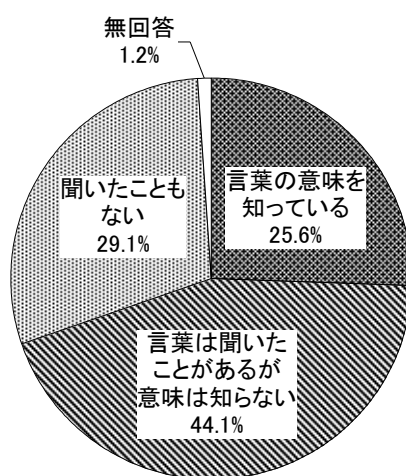
## (2) 生物多様性の認知度

問17 あなたは、「生物多様性」の言葉の意味を知っていますか。

次の中から1つ選んでください。

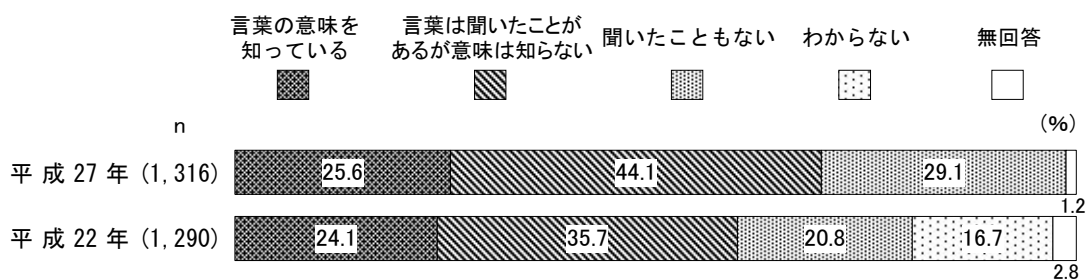
[n=1,316]

1	言葉の意味を知っている	25.6%
2	言葉は聞いたことがあるが意味は知らない	44.1
3	聞いたこともない	29.1
	(無回答)	1.2



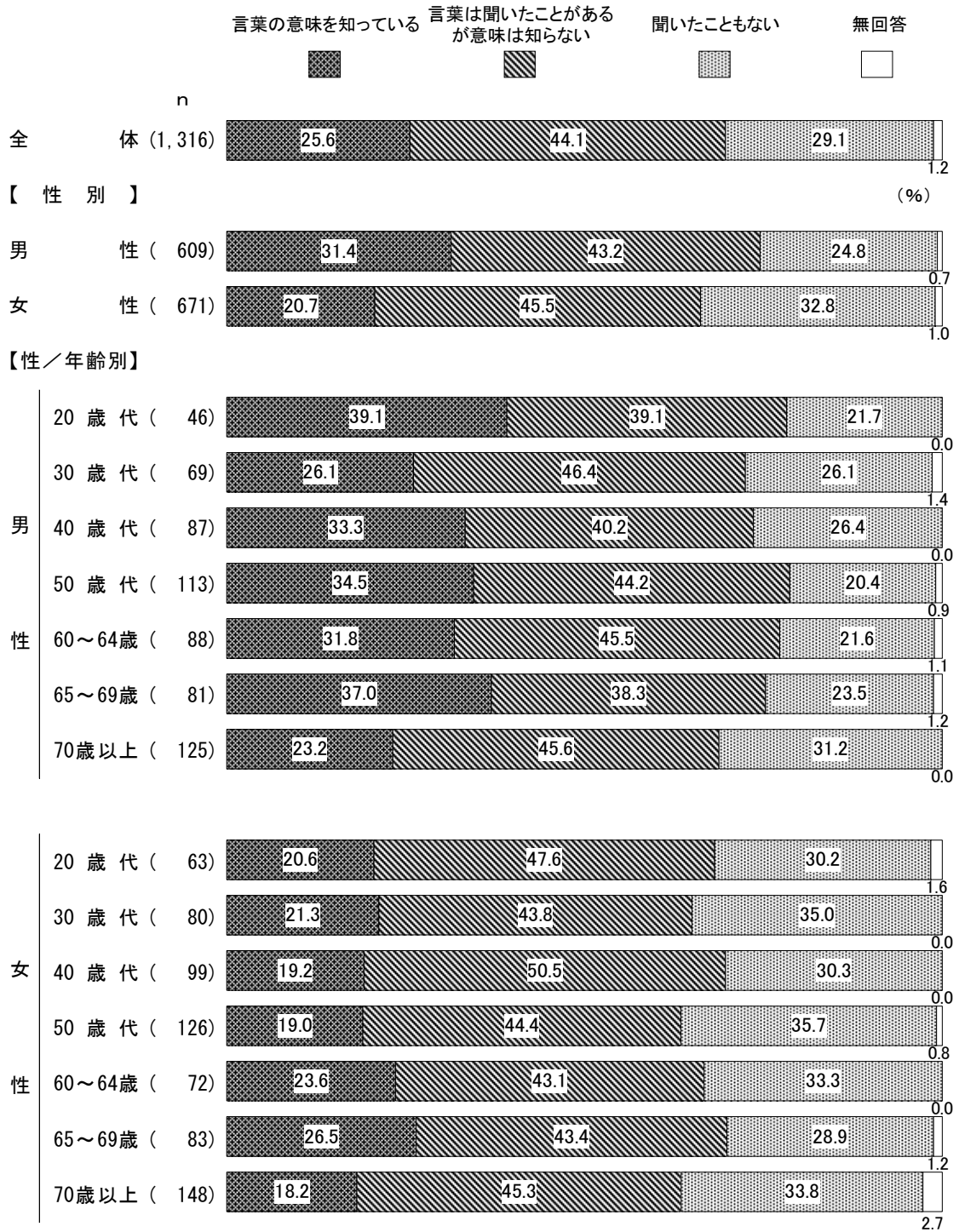
(n=1,316)

全体でみると、「言葉の意味を知っている」(25.6%)は2割半ば、「言葉は聞いたことがあるが意味は知らない」(44.1%)は4割半ばとなっている。一方、「聞いたこともない」(29.1%)はほぼ3割となっている。



平成22年の調査結果との比較については、今回調査で「わからない」の選択肢を加えていないため参考にとどまるが、「言葉の意味を知っている」の割合に大きな傾向の変化はみられない。

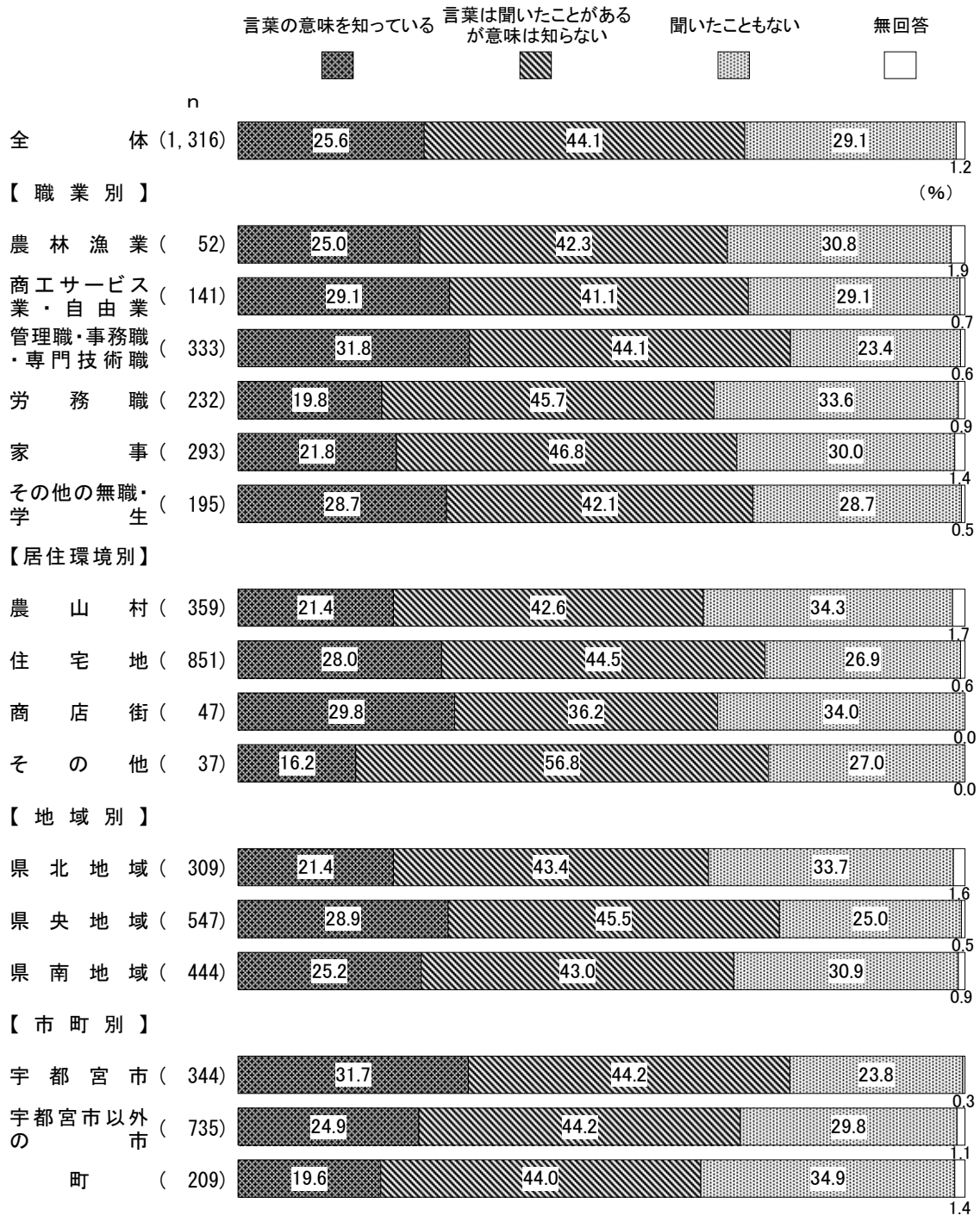
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「言葉の意味を知っている」では〈男性〉(31.4%)が〈女性〉(20.7%)より10.7ポイント高くなっている。「聞いたこともない」では〈女性〉(32.8%)が〈男性〉(24.8%)より8.0ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「言葉の意味を知っている」では〈男性20歳代〉が39.1%、〈男性65～69歳〉が37.0%と高くなっている。「聞いたこともない」では〈女性50歳代〉が35.7%、〈女性30歳代〉が35.0%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「言葉の意味を知っている」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が31.8%と高くなっている。

居住環境別でみると、「言葉の意味を知っている」では〈商店街〉が29.8%、〈住宅地〉が28.0%となっており、〈農山村〉(21.4%)に比べて高くなっている。

地域別でみると、「言葉の意味を知っている」では〈県央地域〉が28.9%と高くなっている。

市町別でみると、「言葉の意味を知っている」では〈宇都宮市〉が31.7%と高くなっている。「聞いたこともない」では〈町〉が34.9%と高くなっている。

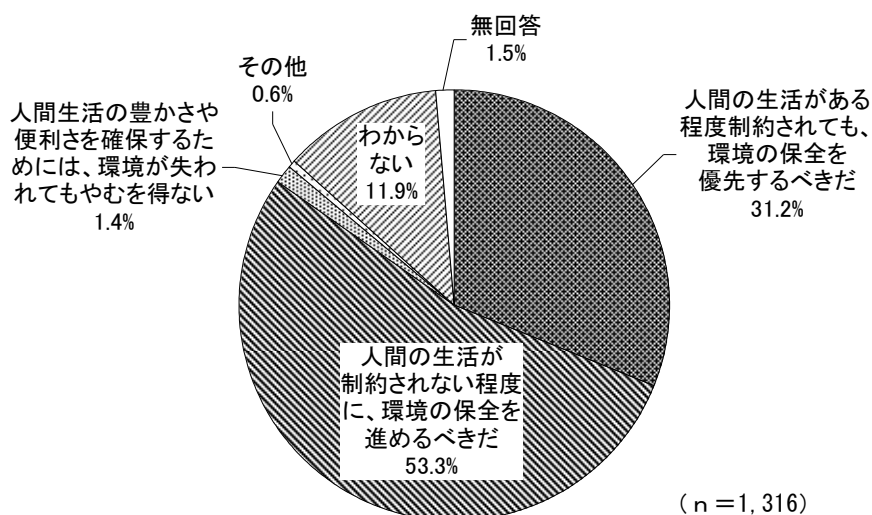
### (3) 生物多様性保全の取組に対する考え

問18 生物多様性（※）保全のため、地球上のさまざまな生物やそれらが生息できる環境を守る取組が進められていますが、このことについて、あなたはどのように考えますか。次の中から1つ選んでください。

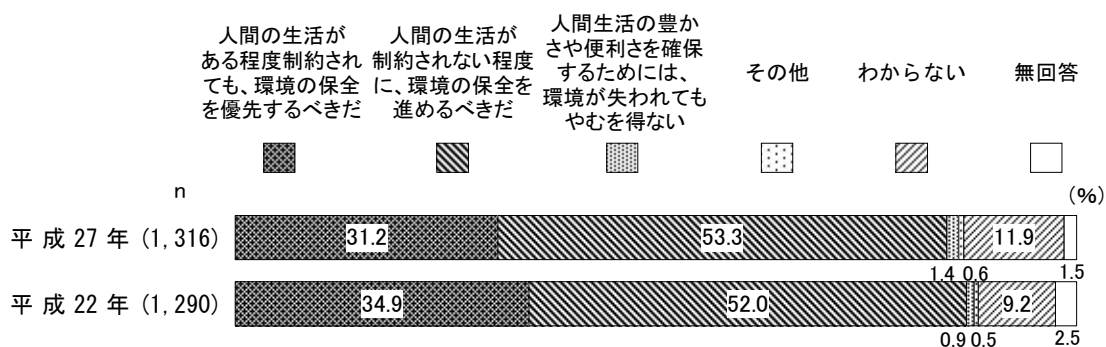
※ 生物多様性とは、生態系、種、遺伝子がそれぞれバラエティに富んでいることを言います。

[n=1,316]

1	人間の生活がある程度制約されても、環境の保全を優先するべきだ	31.2%
2	人間の生活が制約されない程度に、環境の保全を進めるべきだ	53.3%
3	人間生活の豊かさや便利さを確保するためには、環境が失われてもやむを得ない	1.4%
4	その他	0.6%
5	わからない	11.9%
	(無回答)	1.5%

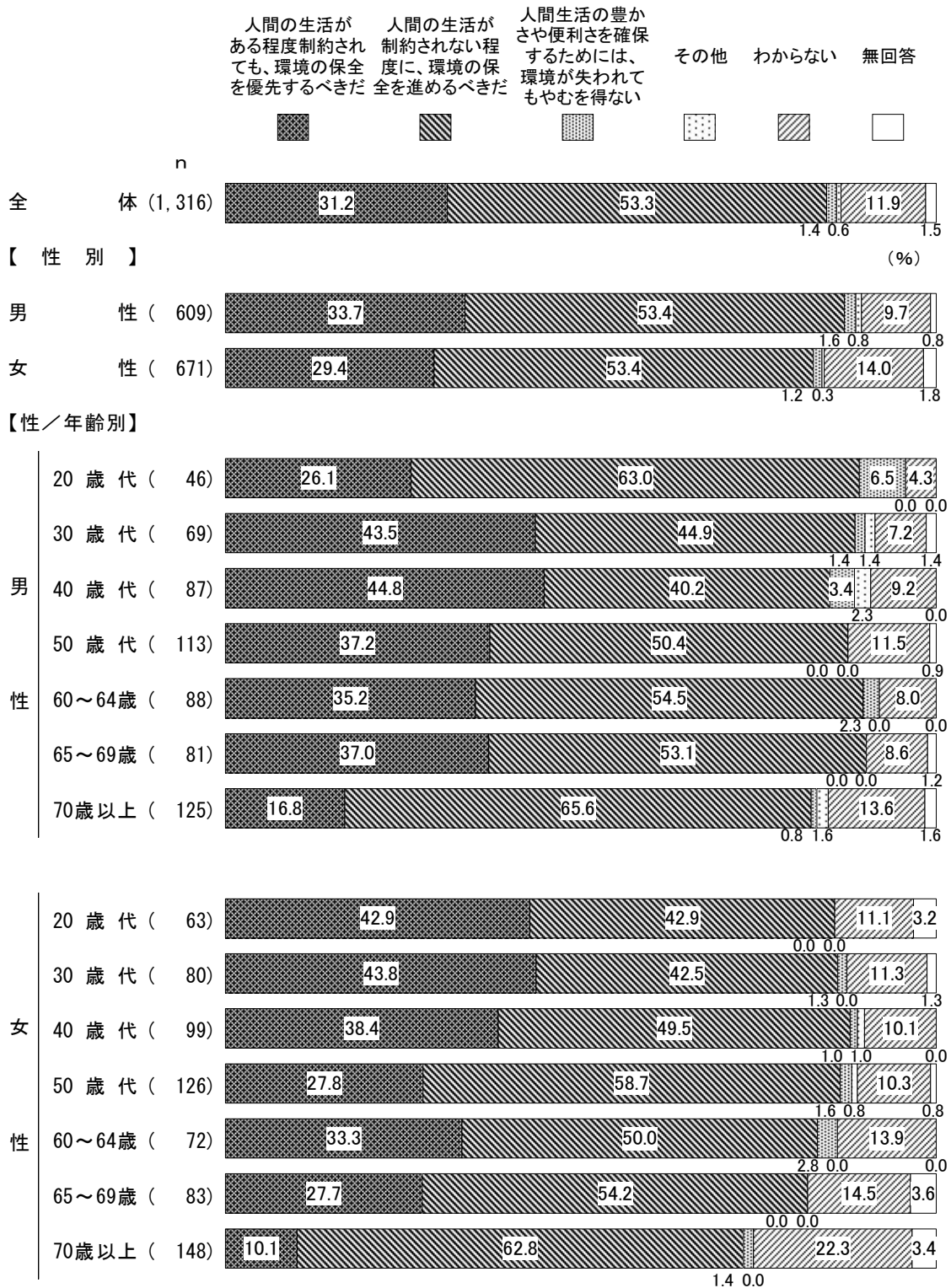


全体で見ると、「人間の生活が制約されない程度に、環境の保全を進めるべきだ」(53.3%)が5割を超えて最も高く、次いで「人間の生活がある程度制約されても、環境の保全を優先するべきだ」(31.2%)は3割を超えている。



平成22年の調査結果と比較すると、「人間の生活がある程度制約されても、環境の保全を優先するべきだ」が3.7ポイント減少している。

[性別・性／年齢別]

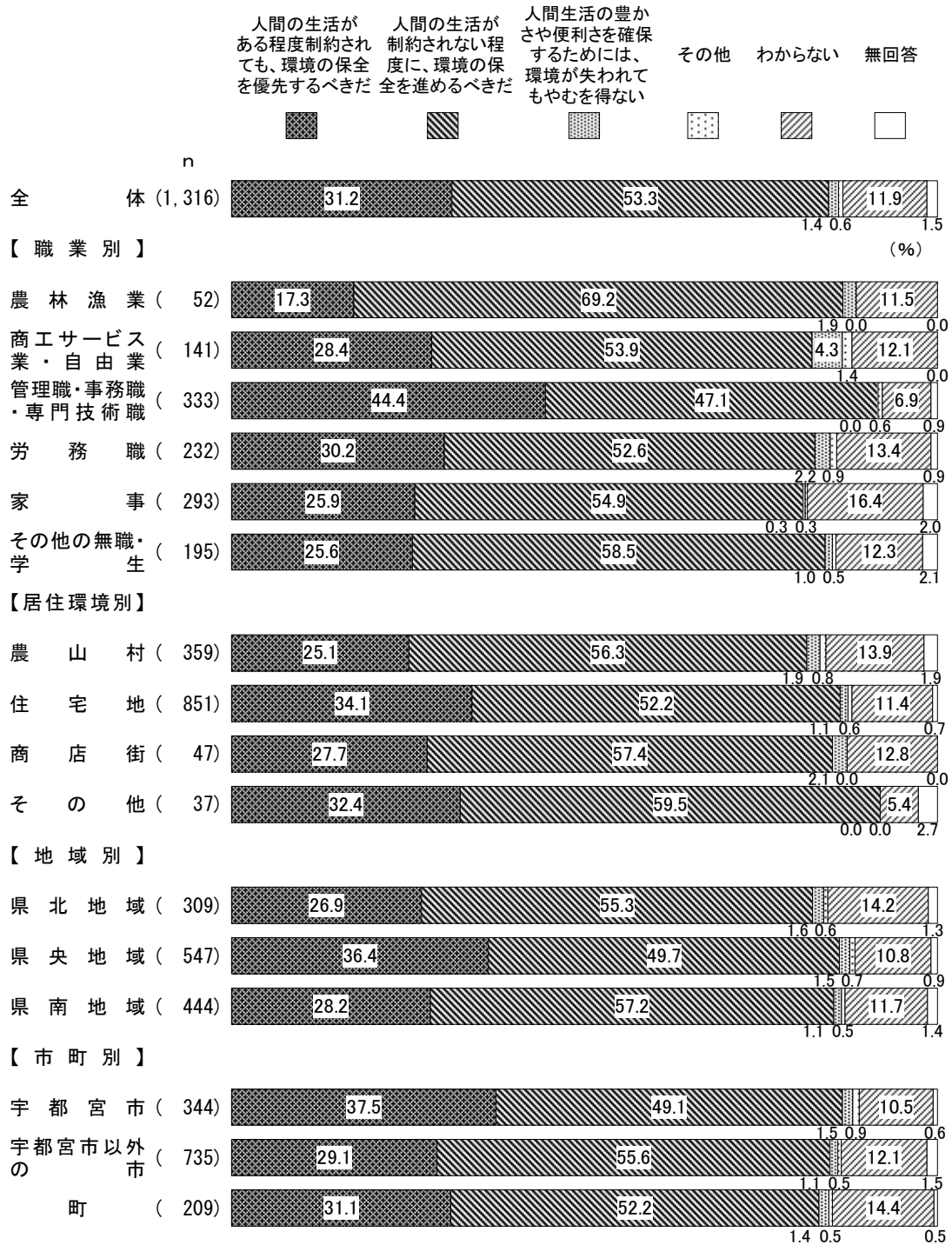


性別でみると、「人間の生活がある程度制約されても、環境の保全を優先すべきだ」では〈男性〉(33.7%)が〈女性〉(29.4%)より4.3ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「人間の生活が制約されない程度に、環境の保全を進めるべきだ」では〈男性70歳以上〉が65.6%、〈男性20歳代〉が63.0%、〈女性70歳以上〉が62.8%と高くなっている。「人間の生活がある程度制約されても、環境の保全を優先すべきだ」では〈男性40歳代〉が44.8%、〈女性30歳代〉が43.8%、〈男性30歳代〉が43.5%、〈女性20歳代〉が42.9%と高くなっている。



[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「人間の生活がある程度制約されても、環境の保全を優先するべきだ」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が44.4%と高くなっている。

居住環境別でみると、「人間の生活がある程度制約されても、環境の保全を優先するべきだ」では〈住宅地〉が34.1%と高くなっている。

地域別でみると、「人間の生活がある程度制約されても、環境の保全を優先するべきだ」では〈県央地域〉が36.4%と高くなっている。

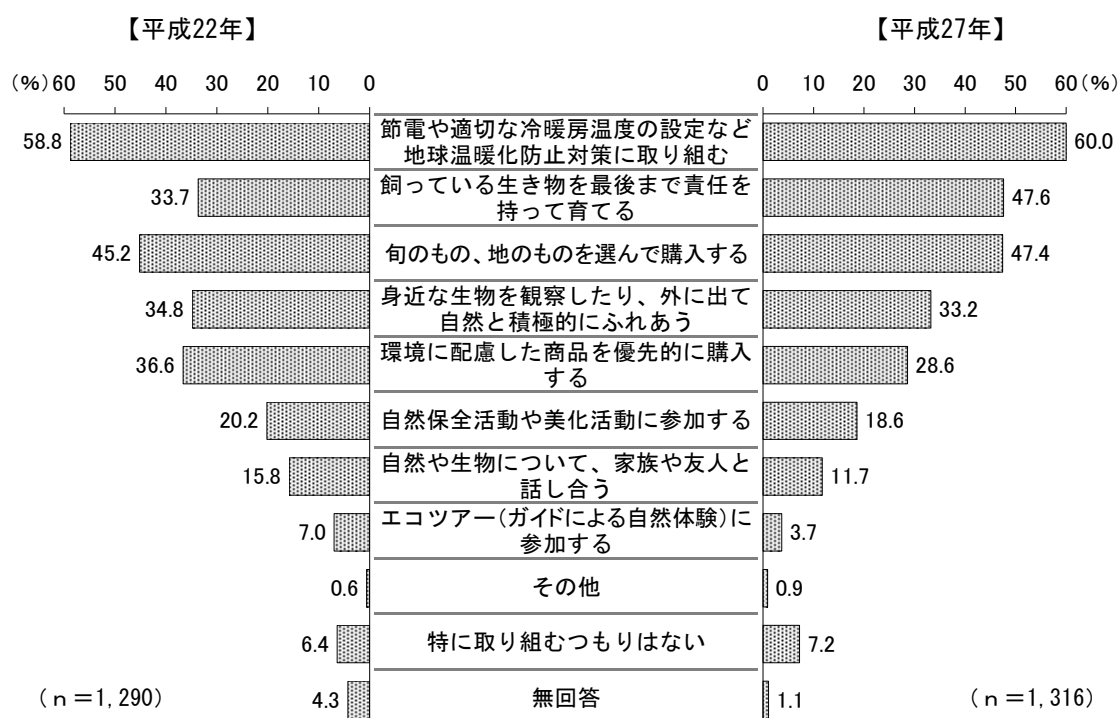
市町別でみると、「人間の生活がある程度制約されても、環境の保全を優先するべきだ」では〈宇都宮市〉が37.5%と高くなっている。

#### (4) 生物多様性配慮のために取り組みたいこと

問19 あなたは、生物多様性に配慮した生活のために、今後どのようなことに取り組んでいきたいですか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,316]

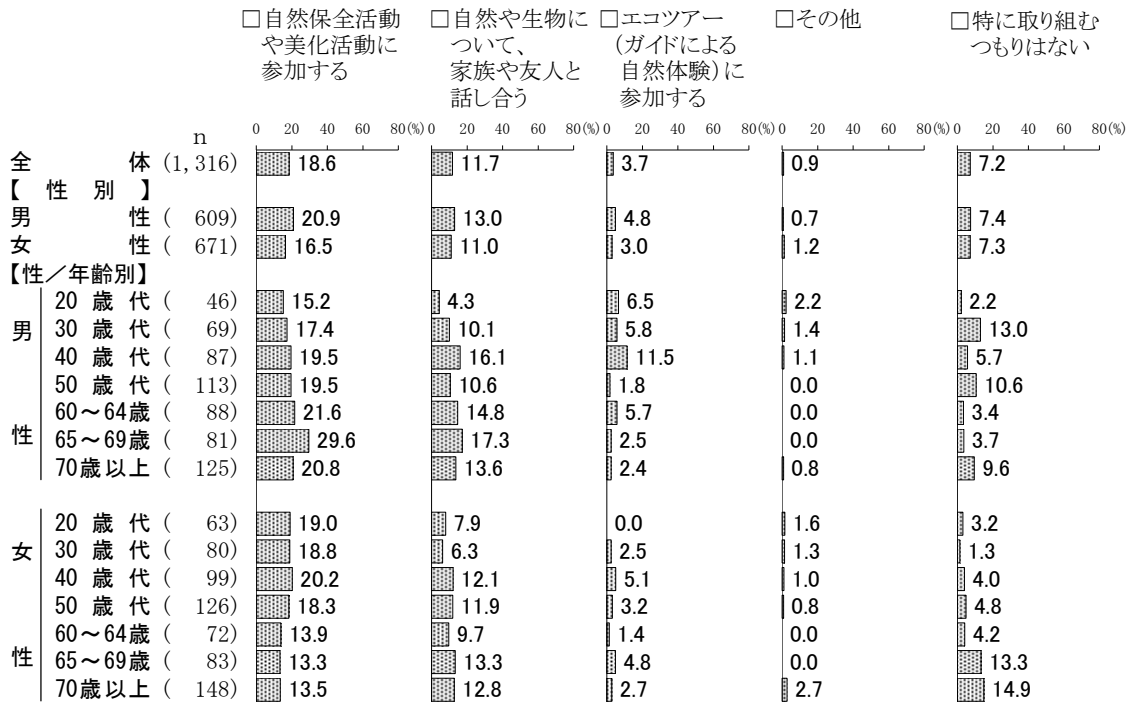
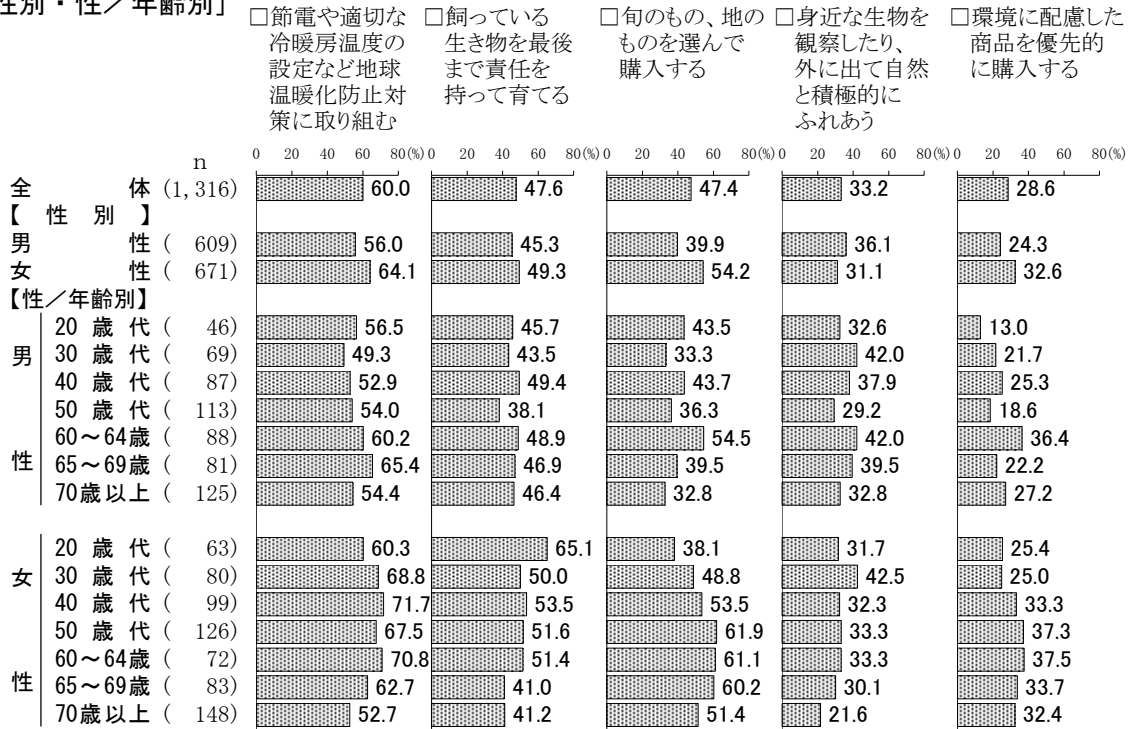
1	身近な生物を観察したり、外に出て自然と積極的にふれあう	33.2%
2	自然保全活動や美化活動に参加する	18.6
3	飼っている生き物を最後まで責任を持って育てる	47.6
4	環境に配慮した商品を優先的に購入する	28.6
5	旬のもの、地のものを選んで購入する	47.4
6	節電や適切な冷暖房温度の設定など地球温暖化防止対策に取り組む	60.0
7	自然や生物について、家族や友人と話し合う	11.7
8	エコツアー（ガイドによる自然体験）に参加する	3.7
9	その他	0.9
10	特に取り組むつもりはない	7.2
	（無回答）	1.1



全体で見ると、「節電や適切な冷暖房温度の設定など地球温暖化防止対策に取り組む」（60.0%）が6割で最も高く、次いで「飼っている生き物を最後まで責任を持って育てる」（47.6%）、「旬のもの、地のものを選んで購入する」（47.4%）、「身近な生物を観察したり、外に出て自然と積極的にふれあう」（33.2%）の順となっている。

平成22年の調査結果と比較すると、「飼っている生き物を最後まで責任を持って育てる」が13.9ポイント増加し、「環境に配慮した商品を優先的に購入する」が8.0ポイント減少している。

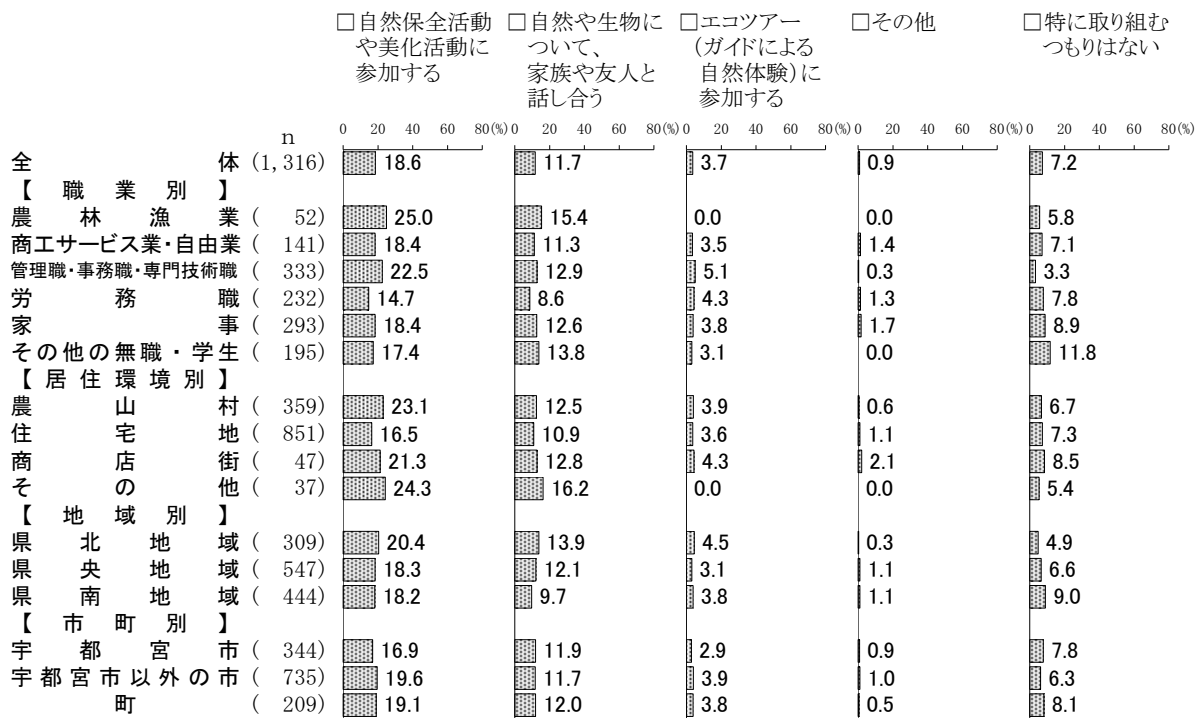
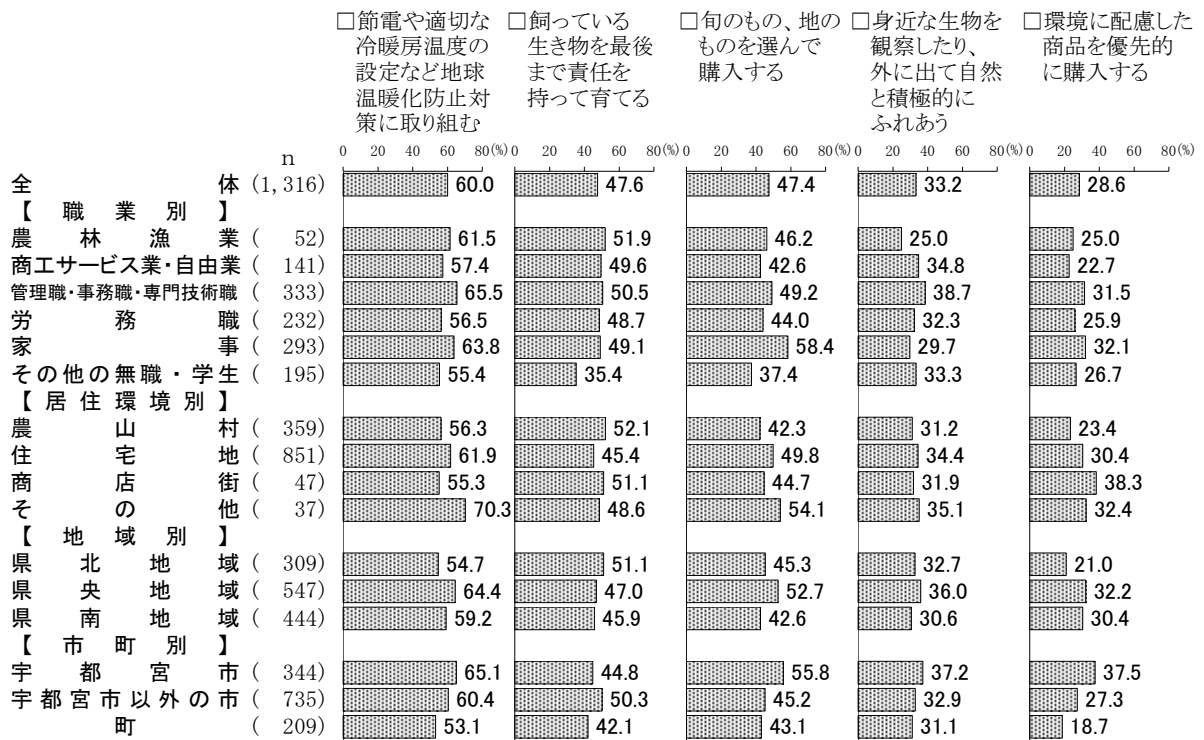
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「旬のもの、地のものを選んで購入する」では〈女性〉(54.2%)が〈男性〉(39.9%)より14.3ポイント高く、「環境に配慮した商品を優先的に購入する」では〈女性〉(32.6%)が〈男性〉(24.3%)より8.3ポイント高く、「節電や適切な冷暖房温度の設定など地球温暖化防止対策に取り組む」では〈女性〉(64.1%)が〈男性〉(56.0%)より8.1ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「節電や適切な冷暖房温度の設定など地球温暖化防止対策に取り組む」では〈女性40歳代〉が71.7%、〈女性60~64歳〉が70.8%と高くなっている。「飼っている生き物を最後まで責任を持って育てる」では〈女性20歳代〉が65.1%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別で見ると、「旬のもの、地のものを選んで購入する」では〈家事〉が58.4%と高くなっている。

居住環境別で見ると、「環境に配慮した商品を優先的に購入する」では〈商店街〉が38.3%と高くなっている。

地域別で見ると、「節電や適切な冷暖房温度の設定など地球温暖化防止対策に取り組む」では〈県央地域〉が64.4%と高くなっている。

市町別で見ると、「旬のもの、地のものを選んで購入する」では〈宇都宮市〉が55.8%と高くなっている。「環境に配慮した商品を優先的に購入する」では〈宇都宮市〉が37.5%と高くなっている。